




# 支援充実のためのこだわりポイントの一部 ドア形状一覧 <1階>

職員室 西側：

- ・内鍵
- ・ガラスなし
- ＊中が全く見えないことで、子供がドアを開けたくなる衝動を減らす。




ドアの色

-  ベージュ / 子供も大人も入る部
-  こげ茶 / 大人だけが入る部屋 (職員室)

トイレ1：

- ・表示錠＊以前の事業所にはなかった表示錠により、安心して入ることができるようになった。




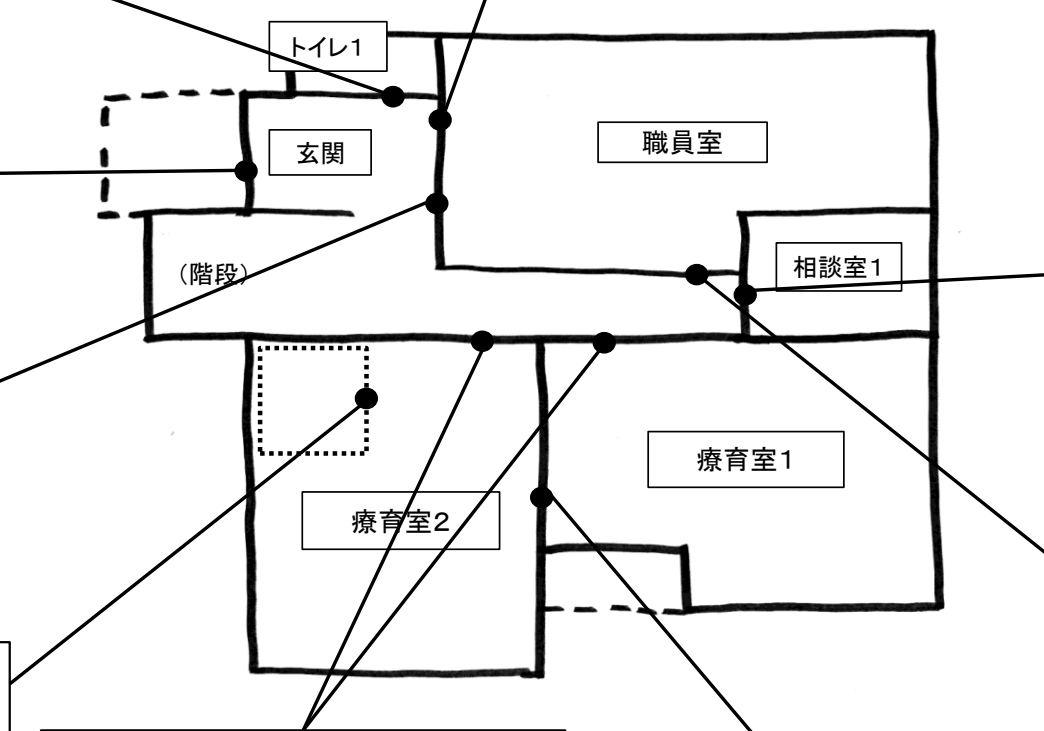
玄関：

- ・鍵 2か所
- ・網戸＊飛び出し防止のために網戸を設置。




受付窓：

- ・透明ガラス
- ＊職員室から玄関が見通すことができ、人の出入りが確認できる。


相談室1：

- ・両面サムターン＊ドア上部のサムターンで、使用しないときは施錠。また、小さい子供による不要な開閉を減らす。
- ・大きい曇りガラス




職員室 南側：

- ・引き戸引き込み装置
- ・両面サムターン＊ドア上部のサムターンで、使用しないときは施錠。また、小さい子供による不要な開閉を減らす。
- ・細い曇りガラス＊中ははっきり見えないが、人の気配を感じることができる。




おやつコーナー：

- ・透明ガラス。床から120cmの高さまでは通常のドア。
- ＊中の子供は外が見えないので集中できる。大人は、ドアを開けなくても内外の子供の様子を確認することができる。




療育室1・2：

- ・引き戸引き込み装置
- ・ゆっくり閉まるドアで、子供の安全確保。
- ・上部は大きな透明ガラス＊子供の活動を見渡すことができる。





療育室1・2の間：

- ・部屋の大きさに合わせた特注サイズ
- ・引き戸引き込み装置
- ＊大きく開くので、療育室1・2を見渡すことができる。一部屋として使用する際は開




# 支援充実のためのこだわりポイントの一部 ドア形状一覧 <2階>

ドアの色

-  ベージュ / 子供も大人も入る部
-  こげ茶 / 大人だけが入る部屋 (事務局、ロフト)


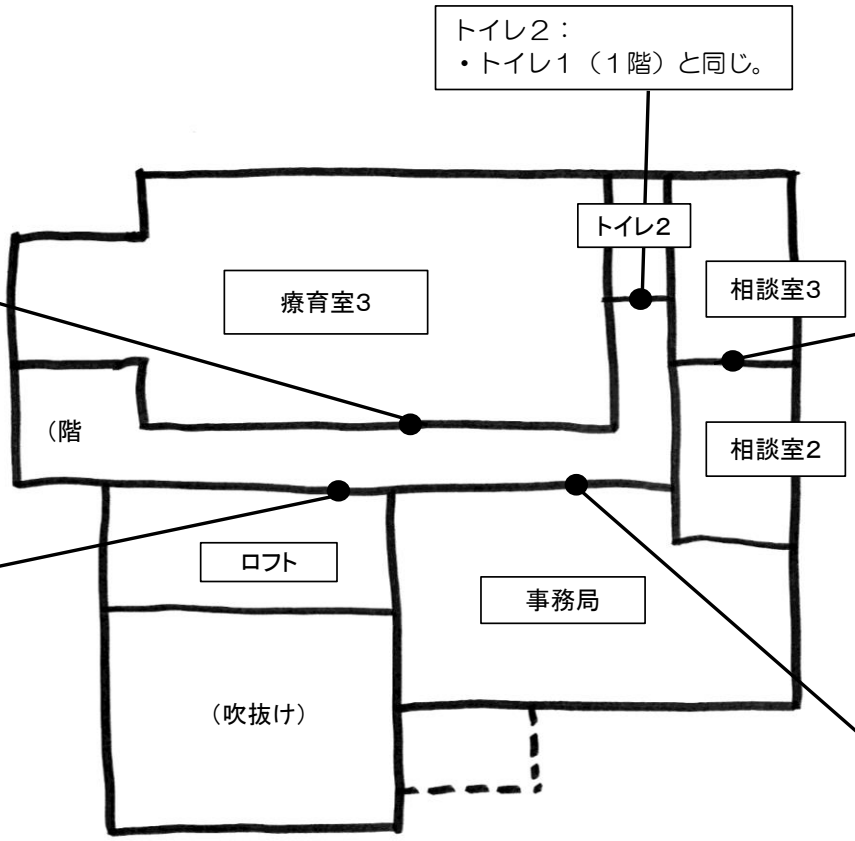
療育室3 :

- ・内鍵
- ・上部は大きな曇りガラス \*同じフロアに相談室や事務局があって大人の出入りも多く、この部屋は身長の高い中高生が使用することも多いので、活動に集中できるように透明ではなく曇りガラスを設置。




ロフト :

- ・内鍵
- ・中が見えない。  
\*中が全く見えないことで、開けたくなる衝動を減らす。

相談室2・3 :

- ・出入口のドアは相談室1と同じ。
- ・2・3の仕切り(引き戸)を外すと、一つの広い部屋になる。会報誌の発送作業などに活用。
- ・通常は2部屋で、個別の相談室に活用。相談の際は、狭い部屋の方が落ち着く。



事務局 :

- ・引き戸
- ・内鍵
- ・細長い曇りガラス  
\*中は見えないが、照明のON/OFFが分かる。

